※令和４年度以降入学生用

学校番号	111

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１　（日本文教出版）						
副教材等	自主教材プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・アクリル絵の具の使い方を練習し、アクリル絵の具を使った表現や、色の学習に取り組みます。
・布バッグへの版画や、立体制作にも取り組みます。
・身の周りのものや美術作品をあらためて見直してみましょう、美しさやその理に心を集中させてもう一度観察して下さい。
・どうすれば自分の表したいものに近づけるかを考えて、自分なりに工夫して表現しましょう。
・意図したものが表現できるように、自分のイメージを深めましょう。
・表現する喜びを味わいましょう。

２　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することをめざす。
・対象や事象を捉える造形的な視点への理解を深めるとともに、創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫することができるようにする。
・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点への理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・美術や美術文化と豊かにかかわり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	美術と自分	【鑑賞】【絵画・彫塑】 ・オリエンテーション ・自己紹介 文字と絵で表現する。 ・模写 教科書を鑑賞し、多様な表現形式について学び「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。 一つ作品を選び模写する。	a:教科書の作品を色や形に留意し模写することができる。 b:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 c:主体的に作品や美術文化の鑑賞に取り組もうとしている。	ワークシート 授業観察 作品	ワークシート 作品	ワークシート 授業観察 作品
	つながる模様	【デザイン】【鑑賞】 ・色彩基礎 ・色彩構成 色のつながりや明度差を利用してグループ全員の模様がつながって見える共同作品を作る。 作品を貼り合わせ、一枚の作品として鑑賞する。	a:色を色相でまとめ、色彩計画についての考察を深め、色の個性を知ることができる。 アクリル絵の具の特性を生かし、むらなく、美しく塗れている。 b:模様のパターンの中に美しさを追求し、形や色彩の働き、また条件を考え発想や構想を練り、表現している。 c:つながりや美しさに着目して共同で制作する創造活動に主体的に取り組んでいる。	ワークシート 授業観察 作品	ワークシート 授業観察 作品	ワークシート 授業観察 作品 振り返りプリント
	ポスター制作	【デザイン】【鑑賞】 ・教科書の作品等を鑑賞する ・伝達したいテーマを決めて計画を練り、制作をする。 アクリル絵の具で着色する。 ・相互鑑賞	a:イラストや写真、文字の形や色、構成などの効果、伝達したいイメージなどを捉え、アクリル絵の具の特性を生かして計画し、表現している。 b:自然や自己、生活などを見つめ伝えたいメッセージを考えて主題を生成し、構想を練っている。 c:伝えたい内容を効果的に表現する創造活動に主体的に取り組んでいる。	ワークシート 授業観察 作品	ワークシート 授業観察 作品	ワークシート 授業観察 作品 振り返りプリント

※令和４年度以降入学生用

	自画像	【鑑賞】【絵画・彫塑】 ・教科書に載っている自画像の作品や作家の自画像を鑑賞する。 ・鉛筆によるデッサン。 顔の向きや角度を考え、表現したい感情をテーマに設定して自分の目を描く。 ・相互鑑賞	a:見る角度の変化によりものの見え方が違うことを理解し、光や陰影、構図等を把握して鉛筆の特性を生かして表現している。 b:色々な作品を鑑賞し、表情や構図、表現方法から受ける印象をもとに自己を表現するための主題を生成し表現できる。 c:自己の内面を表現する創造活動に主体的に取り組んでいる。	ワークシート 授業観察 作品	ワークシート 授業観察 作品	ワークシート 授業観察 作品 振り返りプリント
	シルクスクリーン版画	【デザイン】【鑑賞】 ・自分のイニシャルをデザインする。 ・バッグにシルクスクリーンで印刷する。	a:字体や色彩、構図による効果などを全体的に捉え、版画の特徴や表現方法を知り、用具の特性を生かして表現することができる。 b:自己や文字の特徴などを見つめ感じ取ったことから主題を生成し、創造的な表現の構想を練ることができる。 c:主体的に創造活動に取り組もうとしている。	ワークシート 授業観察 作品	ワークシート 授業観察 作品	ワークシート 授業観察 作品 振り返りプリント
後期	塑造	【鑑賞】【絵画・彫塑】 ・将来の働いている自分をイメージして構想を練る。 ・構想にそった造形を粘土でモデリングし、キャラクターのイメージに合うように色のトーンを考えてアクリル絵の具で彩色する。 ・相互鑑賞	a:形や質感、量感、重心やバランス、動きのある構図による効果などを捉えて粘土や針金、用具の特性を生かして制作している。 b:自己の夢や想像から主題を生成し、素材の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができる。 c:　主体的に彫刻表現の創造活動に取り組もうとしている。	ワークシート 授業観察 作品	ワークシート 授業観察 作品	ワークシート 授業観察 作品 振り返りプリント
	靴のデザイン	【デザイン】【映像メディア】 ・理想の靴というイメージを膨らませて、デザインする。 ・自分の足型を使い、ダンボール素材で制作し、絵の具で彩色する。 ・映像メディアの作品を鑑賞する。 ・制作した靴の作品を用いて写真を撮る。	a:ダンボールの素材や絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。 角度や配置、陰影や構図の効果を捉え、表現することができる。 b:　素材の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができる。 c:　主体的に表現の創造活動に取り組もうとしている。	ワークシート 授業観察 作品	ワークシート 授業観察 作品	ワークシート 授業観察 作品 振り返りプリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度